去る７月２６日（土）、恒例の社会貢献事業が、地元の観光スポット（東京ドイツ村・龍宮城三日月・アクアライン海ほたるＰＡ）を利用して「親と子の絆」をテーマに『かずさ横断ウルトラクイズ』として実施されました。

参加人数１０２０名とうい多くの親子に参加していただき、夏休みの貴重な体験として、思い出多き１日にしていただけたとものと確信しております。

第一次会場である東京ドイツ村には、朝早くから５１０組（１０２０名）の親子にお集まり頂き、大沢法人会長の挨拶の後、早速ウルトラクイズ大会が始まりました。

第一次予選は「○×クイズ」でしたが、最初の問題で間違えてしまう家族も多くあり、そのあまりの早さの敗退に、ブーイングも多少聞こえました。しかしその後の敗者復活戦やビンゴゲームで盛り上がる事ができ、応援のご家族も含めて、皆様には十分に楽しんでいただけたのではないかと思います。

第二次予選は、東京ドイツ村から龍宮城三日月に移動するバス車内での「筆記試験クイズ」でした。それは非情にも、得点の下位２チームが東京ドイツ村にとんぼ返りしなくてはならないと云う、過酷なクイズでありました。負けた２チームの子供さんは泣いてしまうのではないかと心配しておりましが、親御さんから「楽しいクイズ大会に参加させてもらい楽しかったです」と云う言葉を頂き、うれしいやら、ほっとするやらでありました。

（三日月竜宮城　　三次予選の様子）

第三次予選は、龍宮城三日月にて敗者復活戦で勝ち抜いた１０チームと合流し、合計５０組のチームで「３択早抜けクイズ」を行いました。５組 10 名のみが決勝戦に進出できるという、まさに正念場突入であります。

そしていよいよクライマックスの決勝戦。会場をアクアライン海ほたるＰＡに移し、「早押し先取１０問クイズ」で、優勝目指して５組 10 名の親子が競い合いました。

夏の日差しが容赦なく照りつける海ほたるの会場は、テレビスタッフもうなるほどの本格的な会場セッテイング、優勝の副賞は親子でのハワイ旅行券、準優勝は国内旅行券とあり、出題の１問ずつに緊張が走ります。

約１時間の熱戦の末、優勝チームが決定いたしましたが、なんとその優勝は敗者復活戦から勝ち抜いて来られたチームでありました。　「一次予選敗退者にも面白みのある企画にしてもらいたい」といった様々なご意見をいただき、担当委員会で企画を練り直し、敗者復活戦やビンゴゲームを追加してみたのであります。偶然の結果とはいえ、努力が報われたことをうれしく思います。

今回初めてのこのような大きなイベントを企画してみて、いろいろな悩みや心配事がありました。当日のお天気に始まり、夏休みの交通渋滞によるタイムスケジュールの変更、猛暑による熱中症など体調不良者への対応など、そして何よりも１０００人を超える人たちを集めてのスムースな進行ができるのかといったことまで、数え上げればキリがありませんでした。

前日までほぼ毎夜のように委員会を重ね、様々なシュミレーションを繰り返しながら当日を迎えました。お天気にも恵まれ、一人のけが人も出すことなく事業を終えることができましたことは、関係各位のご協力と委員会メンバーの汗とアイデアの結晶と思っています。

ご参加いただいた皆様に改めて感謝申し上げ社会貢献事業の報告とさせていただきます。

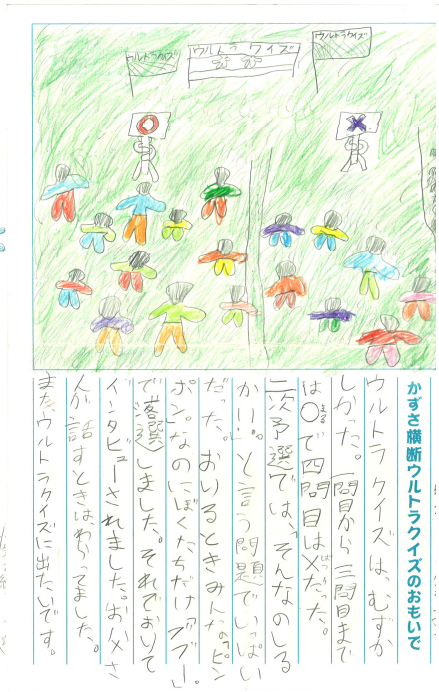
（青年部会・社会貢献委員長　　今村勲）

「かずさ横断ウルトラクイズ」参加者の皆さんに絵日記の募集をさせていただきました。その内の何点かを紹介したいと思います。皆とてもよく描けていますよ！

イベントを終えて

敗者復活から見事勝ち上がった富岡さん親子のＶサインです。

優勝者始め多くの方々から、イベント終了後、「是非、ウルトラクイズの第２弾をやって欲しい」とのお声をいただきました。感謝



左から　西山結さん　尾辻拓巳君　佐藤由奈さん